

令和 7 年 6 月 28 日現在

機関番号：37130

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2020～2024

課題番号：20K11147

研究課題名（和文）臨床看護師のための災害看護コンピテンシー獲得を目的とした学修支援ツールの開発

研究課題名（英文）Development of Learning Support Tool for Clinical Nursing to Acquire Disaster Nursing Competency

研究代表者

堀内 美由紀（HORIUCHI, MIYUKI）

福岡国際医療福祉大学・看護学部看護学科・教授

研究者番号：60453148

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）： ICN「災害看護コア・コンピテンシー Ver.2.0」に基づいて抽出した「災害初動で臨床看護師に求められるコンピテンシー」を学習到達目標とし、学習者自らが到達度を評価し継続学習を促進できる支援システムを構築した。「災害看護コア・コンピテンシー Ver.2.0」の国内での周知に寄与、実践的活用の可能性を示した。教育工学および教授システム学の理論を看護学領域に応用し、学習者の自律的評価と継続学習を支援するオンライン学習支援システムを構築した点は学術的にも意義がある。COVID-19対応の実際から感染症パンデミック対応能力の分析と検証を行うことができたことは、社会的意義としても大きい。

研究成果の学術的意義や社会的意義

災害看護における初動対応能力の明確化と体系化を通じて、ICNの国際的なコンピテンシーフレームに準拠した日本型災害看護教育の方向性を示した点で学術的意義を持つ。また、教育工学や教授システム学の理論を災害看護教育に応用した点は、看護学と教育学の学際的融合の一例として注目される。さらに、COVID-19という未曾有の感染症災害において、従来の地震や風水害と異なる災害への看護師の対応を検証できた点は、今後の災害対策の包括性に寄与するものである。

研究成果の概要（英文）： Based on the “ICN Core Competencies in Disaster Nursing Ver. 2.0,” we identified the competencies required of clinical nurses during the initial phase of disaster response and developed a support system using these competencies as learning objectives, enabling learners to evaluate their achievement levels and to promote continuous, self-directed learning. This study demonstrated the potential for dissemination and practical application of the “ICN Core Competencies in Disaster Nursing Ver. 2.0.” Its academic significance lies in applying instructional design and educational technology theories to the nursing field, resulting in an online system that supports learners’ self-assessment and ongoing learning.

Furthermore, using data from nurses who actually responded to the COVID-19 pandemic, this study analyzed and verified competencies related to pandemic response, which holds considerable social value.

研究分野：看護学

キーワード：災害看護学 臨床看護師 コンピテンシー 継続学習支援

## 1. 研究開始当初の背景

災害発生初動において看護職が果たすべき役割は多岐にわたり、特に感染症パンデミックのような新たな災害様相に対応するための看護実践能力の強化が喫緊の課題とされていた。平成 28 年の熊本地震や平成 30 年の西日本豪雨、令和元年の台風 19 号といった自然災害下での看護活動に加え、2020 年以降の COVID-19 パンデミックが発生したことにより、看護師に求められる災害初動対応能力の再検討が必要となった。加えて、2019 年には ICN (国際看護師協会) より『CORE COMPETENCIES IN DISASTER NURSING Ver.2』が発表され、グローバルスタンダードに準拠した教育・実践体制の整備が求められる状況となった。

## 2. 研究の目的

研究の目的は、ICN が提唱する災害看護コア・コンピテンシー Ver.2 と、先行して開発した災害初動における臨床看護師のコンピテンシーとの整合性を明らかにし、その結果を踏まえた学習支援システムの構築および看護教育への応用可能性を検討することであった。COVID-19 パンデミックを経験したことから、本研究で抽出した「災害初動に臨床看護師が求められるコンピテンシー」が感染症対応にどの程度活用されたのかを明らかにすることも加えた。

## 3. 研究の方法

以下の 3 段階で研究を実施した。

### 1) コンピテンシー整合性の検討

CN 災害看護コア・コンピテンシー Ver.2 と、2017~2020 年度科研費で開発した日本独自の災害初動看護師コンピテンシーの整合性を、質的レビューと専門家との意見交換により検証した。

### 2) COVID-19 対応におけるアンケート調査

層別無作為抽出で選定した全国 300 病院から 25 病院・275 名の看護師を対象に、74 項目からなる災害看護能力調査を実施。4 件法による評価結果を基に、各コンピテンシー項目の必要性と職位別の差異を統計的に分析した。

### 3) 学習支援システムの開発と活用

Moodle を用いたオンライン学習支援システムを構築し、県看護協会災害支援ナースの継続教育教材として試用。事前学習と集合研修を組み合わせた教育プログラムの有効性を評価した。

## 4. 研究成果

### 1) 研究成果の概要

当初予定していた大規模災害（熊本地震，西日本豪雨，大阪地震，令和元年台風19号等）での看護師のインタビューおよびアンケート調査は，COVID-19 パンデミックの影響により実施困難となったが，COVID-19 を感染症災害と位置づけた視点からの研究を加えるなど発展的に変更できた。

全国の医療施設より層別無作為抽出で選定された25病院・275名の臨床看護師を対象に，74項目の災害初動コンピテンシー調査を実施した。その結果，72項目において80%以上の看護師がCOVID-19対応に必要であったと認識し，特に役職の有無によらず災害時に求められる基本的コンピテンシーは広く共有されていることが明らかとなった。さらに，因子分析により，感染症管理，情報共有，心理的支援，倫理的判断などの主要な能力群が抽出された。また，クラスター分析によって，全体的に高いスコアを示す看護師群が確認され，その属性として，役職の有無よりも所属病棟や経験年数に関連する傾向が認められた。ICNが発表した災害看護コンピテンシー Ver.2.0 と本研究で構築した日本型の災害初動コンピテンシーとの整合性についても質的分析により確認され，特に災害初期に必要な知識・態度・技能に関する部分で一致が見られた。

### 2) 教育支援システムの構築と活用

Moodle を活用したオンライン学習支援環境を構築し，コンピテンシーに基づいた教材を開発した。教材には，入口テスト，自己評価ルーブリック，基本知識サマリー，関連リンク集，掲示板，確認テスト等を含み，県看護協会と連携した災害支援ナースの継続学習として活用された。この教育支援システムは，教育工学の視点から ibstpi®(Instructional Design Competencies for Instructional Developers) を理論的基盤とし，学習者が自らの学習目標を設定し，ルーブリックによって達成度を可視化しながら学ぶことを可能とする設計とした。非同期型の学習環境は変則勤務が多い看護師に適しており，自由な時間での学習を可能にした一方，ログインの煩雑さや掲示板での意見交換に対する心理的抵抗感が学習継続の妨げとなる傾向が示された。

### 3) 今後の課題

モチベーションの維持やアクセスの利便性といった課題も明らかになり，教育支援システムの利便性向上，特によりユーザーフレンドリーなデザインなどログインの簡略化や学習の継続性を高める仕組みの導入が求められる。

また，実践現場への更なる浸透と多職種連携教育への拡張が必要である。加えて，災害時における看護師の役割明確化を促す教育的介入の効果検証や，支援ナース・専門看護師・認定看護師の協働による災害対応体制の構築も今後の重点的検討課題とされる。

さらに，本研究で明らかとなった災害初動コンピテンシーを，看護基礎教育における早期教育に組み込む必要性も示唆される。特に，看護学原論，国際看護学，地域看護学など初年次・中間年次科目において，災害対応の基礎的理解と実践的判断力を育成することは，今後の災害多発社会において重要である。学生の段階から「災害に備える専門職」としての視点を養う教育介入は，将来的な人材育成戦略の一環として重要な役割を果たすと考える。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計7件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 MIYUKI HORIUCHI, Matsuba.R., Miyazaki.M.
2. 発表標題 Development of a Learning Support System for Acquiring Disaster Nursing Competencies Required in the Acute Phase of Disaster
3. 学会等名 World Association for Disaster and Emergency Medicine Congress, Killarney Island (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 堀内美由紀, 清水佐知子, 松葉龍一, 宮崎誠
2. 発表標題 災害支援ナースの継続学習支援システム構築における県看護協会との協働に関する報告
3. 学会等名 第25回災害看護学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宮崎誠, 渡辺博芳, 眞坂美江子, 高井久美子, 堀内美由紀
2. 発表標題 災害看護研修におけるルーブリック自己評価システムの活用
3. 学会等名 大学ICT推進協議会 2022年次大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宮崎誠, 渡辺博芳, 眞坂美江子, 高井久美子, 堀内美由紀
2. 発表標題 災害看護研修におけるルーブリック自己評価システムの活用
3. 学会等名 大学ICT推進協議会2022年度大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 MIYUKI HORIUCHI, SACHIKO SHIMIZU, RYUICHI MATSUBA, MAKOTO MIYAZAKI
2. 発表標題 Competencies Required of Clinical Nurses for Dealing With COVID-19: From the Perspective of Disaster Nursing
3. 学会等名 the 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (7th WANS) in Taiwan (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 堀内美由紀, 宮崎誠, 嶋田理博, 伊藤健一, 服部律子, 大浦智子
2. 発表標題 保健医療系大学教育における 効果的なオンライン学習の活用に関する検討
3. 学会等名 私立大学情報教育協会 教育イノベーション大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 堀内美由紀 松葉龍一 清水佐知子 宮崎誠
2. 発表標題 ICN災害看護コンピテンシーVer.2を用いた 災害初動看護コンピテンシー評価項目の検証
3. 学会等名 第13回日本医療教授システム学会学術集会,
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 M.horiuchi, T.Ito, in Eds by S.Kanbara, S.Miyagawa, H.Miyazaki	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 184
3. 書名 Capacity Development and the Instructional Design for Achievement Goal, 『Disaster Nursing, Primary Health Care and Communication in Uncertainty, Sustainable Development Goals Series』 pp.99-110,	

1. 著者名 増野 園恵, 稲垣 真梨奈, 清水 佐知子, 堀内 美由紀, 松尾 香織, 松葉龍一	4. 発行年 2022年
2. 出版社 日本看護協会/兵庫県立大学 地域ケア開発研究所	5. 総ページ数 15
3. 書名 日本語版 災害看護コアコンピテンシー 2.0 版	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	松葉 龍一  (MATSUBA RYUICHI)  (40336227)	福山平成大学・経営学部・教授    (32692)	
研究分担者	清水 佐知子  (SHIMIZU SACHIKO)  (50432498)	武庫川女子大学・看護学部・教授    (34517)	
研究分担者	宮崎 誠  (MIYAZAKI MAKOTO)  (60613065)	帝京大学・理工学部・講師    (32643)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------